

教科名（科目名）学習指導案

日時 令和〇年〇月〇日（〇）
〇校時 〇：〇～〇：〇
学校名 ××高等学校
対象 第1学年1組40名
会場 1年1組教室
授業者 〇〇〇〇

扱う単元全体について

1. 単元名

- (1)本時はどの単元を取り扱うのか
- (2)使用教材（教科書など）

2. 単元の目標

この単元全体で「生徒が」何をできるようになるようにしたいか
(↓の3観点に対応するもの3つ挙げると書きやすい)

3. 単元の評価規準

各生徒が2の目標をどの程度達成したか、以下の3つの観点でそれぞれどう評価するのか（※客観的&平等に数値化できる方法が望ましいので、机間指導はおススメしない）

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的な学びに取り組む態度
①生徒がどのような状態にあると目標達成なのか書く 例：〇〇を理解している	① //	① //

4. 指導観

(1)単元観

指導要領のどの単元に当てはまり、何がねらいとされる単元なのか。指導要領から引用して書く。

(2)生徒観

指導を行う学校やクラスの特徴、どのような指導の工夫が必要か

(3)教材観

今回使用する教材（プリントや活動に使用する資料）でどのような活動ができるのか

5. 年間指導計画における位置づけ

1年間の指導内容のうち、この単元はどこに位置するのか
どのような役割を果たすのか

6. 単元の指導計画と評価計画（全〇時間）

単元の中で、本時の「目標」「内容」「評価規準」を書く

7. 指導に当たって

(1)授業力の6要素について ー以下の3つについて、それぞれ授業にどのような場面を取り入れるか

- ア「使命感、熱意、感性」「生徒理解」「統率力」
- イ「指導技術（授業展開）」「教材解釈、教材開発」
- ウ「『指導と評価の計画』の作成・改善」

(2)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて ー以下の3つについて、それぞれ授業にどのような場面を取り入れるか

- ア 主体的な学び
- イ 対話的な学び
- ウ 深い学び

8. 本時（全〇時間中の第〇時）

(1)本時の目標

本時で「生徒が」何をできるようになるようにしたいか書く

(2)本時の展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準（評価方法）
導入 〇分	「生徒」が何を、何を考えるか書く	その場面で「教員」が何を留意するのか書く	3のどれに当てはまるか 例：イー①（プリント）
展開 〇分	↓	↓	↓
まとめ 〇分	↓	↓	↓

(3)板書計画

書く予定の板書を記載してもよいが、スライドや授業プリントを使用する場合は「別紙、授業プリント、スライド一覧のとおり」のように書いて、印刷したプリントやスライドを後ろに添付すればOK

(4)授業観察の視点

特にアドバイスがほしい部分について記載する。特になければ「生徒が本時の目標を達成している様子はみられたか。」「発問の内容や進度は生徒に適したものになっていたか。」「授業者の助言のタイミングや内容は適切なものだったか。」など

本時の授業について